



# **Electric Guitar Amplifier**

## **LGA-15II**

取扱説明書/保証書

## ■安全上のご注意

この機器を使用する前に本取扱説明書をよく読み、ご使用の際は火災、感電、人身傷害などを防止するため以下の指示を守ってください。



### 警告

**この注意事項を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡するまたは重症を負うなど重大な事故を引き起こす可能性が予想されます。**

- △ この機器を分解したり、改造したりしないでください。
- △ 修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。
- △ 感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。
- △ キャビネットをあげないでください。
- △ 修理は販売店に依頼してください。
- △ この機器は音量設定により難聴になる可能性があります。音量の調整に注意し、大音量で長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。

### 設置環境に関して

- △ 次のような場所での使用や保管はしないでください。
  - ・ 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
  - ・ 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
  - ・ 雨に濡れる場所
  - ・ ホコリの多い場所
- △ 本機の背面と周囲との間は15 cm以上確保し、正常な通気と冷却が妨げられない場所に設置してください。
- △ 本機の上に液体の入った容器、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。
- △ この機器を、ぐらついた台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。
- △ この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。
- △ この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。
- △ この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。

### 電気、電源に関して

- △ 電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。
- △ 付属電源コードはこの機器以外には使用しないでください。
- △ 電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードがショートを起こしたり、断線するなどして、火災や感電の原因になる恐れがあります。
- △ 濡れた手で電源コードのプラグを持って、コンセントに抜き差しをしないでください。
- △ 電源コードをコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグを持ってください。
- △ この機器を移動する際は、電源プラグや外部機器との接続も全て外してから行ってください。
- △ 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外してください。
- △ 落雷の恐れがあるときは、早急に電源プラグをコンセントから外してください。
- △ 完全に電源を切る必要があるときは、この機器の電源（POWER）スイッチを切った後、コンセントからプラグを抜いてください。本製品は電源コンセントが接続されている場合、電源スイッチがオフになっていても、電源から完全に絶縁されていません。
- △ 次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから外し、販売店に修理を依頼してください。
  - ・ 電源コードやプラグが破損したとき
  - ・ 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
  - ・ 機器が（雨などで）濡れたとき
  - ・ 機器に異常や故障が生じたとき

- △ 電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット／アンペア）を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。
- △ アンプの電源をオンにした状態でヒューズの交換をしないでください。また定格を超えたヒューズを使わないでください。（機器の安全の為にヒューズが装備されています。ヒューズは外部の衝撃や寿命で切れることもあります。ヒューズが切れた場合内部に重大な故障が発生している可能性が有りますのでヒューズを交換する前に販売店にご相談ください。）



#### 注意

**取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険、物的損害の発生が想定されます。**

- △ ギター、シールド・ケーブル、エフェクターなどのケーブルの接続、取り外しはボリュームを“0”にするか、電源(POWER)スイッチを切ってから行ってください。プラグを抜き差しする際のノイズは誤作動やスピーカー破損など本製品に深刻なダメージを与える場合がありますので必ずご注意ください。
- △ 小さなお子様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたすらに注意してください。必ず保護者の方が監視／指導してあげてください。
- △ 接続したコードやケーブル類は、繁雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、小さなお子様の手が届かないように配慮してください。

#### 使用上のご注意

- △ 雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きな機器とは、別のコンセントを使用してください。
- △ 電源コードのプラグを差し込むコンセントは、この機器にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。
- △ この機器の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハムノイズ（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- △ 故障の原因になりますのでスイッチやツマミに必要以上の力を加えないでください。
- △ テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。
- △ 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- △ また、至近距離から照らす照明器具や強力なスポット・ライトで長時間同じ位置を照射しないでください。変形、変色することがあります。
- △ 本機の上にゴム製品やビニール製品などを長時間放置しないでください。変形、変色することがあります。
- △ 本機にシールなどを貼らないでください。はがす際に外装の仕上げを損なうことがあります。

#### お手入れについて

- △ 本製品の表面をお手入れする前に、電源コードをコンセントから外してください。
- △ お手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取ってください。
- △ 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

#### その他の注意について

- △ 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- △ この機器は多少発熱することがありますが、故障ではありません。
- △ 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は、音量に十分注意してください。

## ■はじめに

この度はLOUISギターアンプLGA-15 IIをお買い求め頂き、誠にありがとうございます。本製品を十分に活用していただくために、ご使用前に必ず本取扱説明書をよくお読みください。また本書は大切に保管してください。

## ■特徴

LOUIS LGA-15 IIは、独自の回路設計により良質で幅広いサウンドと音量感を実現したギター・アンプです。GAINコントロールとVOLUMEコントロールの調節により、透き通ったクリーン・サウンドからブルージーなクランチ/オーバードライブ・サウンドまで生み出します。さらにDRIVEスイッチを押すことでハードな音楽にも対応したハイゲイン・サウンドを生み出します。音質は3バンド・イコライザーにより細かく調整することができます。またヘッドホン端子とCD/MP3入力端子を装備していますので、お好きな音楽とギター之音をミックスし、ヘッドホンで楽しく練習することもできます。

## ■仕様

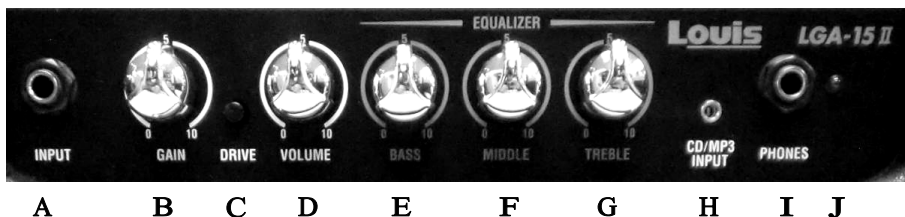
### エレクトリック・ギター・アンプリファイアー

電圧：	100V, 50/60Hz
定格出力：	15W
入カインピーダンス：	1M $\Omega$
出カインピーダンス：	8 $\Omega$
スピーカー：	8 $\Omega$ , 6.5"
コントロール：	GAIN, DRIVE, VOLUME, BASS, MIDDLE, TREBLE
入出力端子：	INPUT: GUITAR, CD/MP3 OUTPUT: PHONES
ヒューズ：	250V/500mA
サイズ：	H340 × W355 × D177mm
重量：	7kg
付属品：	電源コード、取扱説明書/保証書

\*製品の仕様は品質向上のため予告無く変更する場合があります。

## ■各部の名称と働き

本体上面コントロール・パネル



### A INPUTジャック

フォンジャックの入力端子です。シールド・ケーブルを用いてエレクトリック・ギターと接続してください。

### B GAINコントロール

プリアンプのゲイン・レベルを調整します。

- ・ DRIVEスイッチがOFFのとき、右に回すと徐々に歪み始め、ナチュラルなクランチサウンドが得られます。
- ・ DRIVEスイッチがONのとき、右に回すと大きな歪みが得られ、同時にサスティーンの間と音量が上がります。

### C DRIVEスイッチ

ONにするとゲイン・レベルが大幅に増幅、サスティーンと歪みの量が上がります。

#### D VOLUMEコントロール

出力レベル（音量）をコントロールします。

#### E BASSコントロール

低音域をコントロールします。

#### F MIDDLEコントロール

中音域をコントロールします。

#### G TREBLEコントロール

高音域をコントロールします。

#### H CD/MP3 INPUTジャック

ミニフォン・プラグにて外部オーディオ機器と接続し、アンプでギター・サウンドとミックスさせることができます。ボリューム、音質などは外部オーディオ機器側で調整してください。

#### I PHONESジャック

ヘッドホンを接続します。フォンジャックの入力端子です。

#### J LEDインジケータ

電源オン時に点灯します。

本体裏面パネル



#### K POWERスイッチ

電源のオン・オフを切り替えるスイッチです。POWERスイッチがオン（上）の状態では音を出すことができます。アンプを使用しないときはスイッチをオフ（下）に切ってください。

#### △ 警告

POWERスイッチをオンにする前に、必ずVOLUMEコントロールが“0”であることを確認してください。VOLUMEコントロールが上がった状態で電源をオンにした場合、突然大きな音が出られ使用者の聴覚を害する恐れがあります。また突然の過大入力によりスピーカーが損傷することがあります。

#### L 電源コード・ソケット

付属の電源コードを差し込み、反対側をコンセントに差し込んで使用してください。

#### M ヒューズ

電気系統に規定以上の電流が流れると、ヒューズが切れて過電流から電装品を保護し故障、火災などの発生を防ぎます。もし電源が入らない場合はコンセントを抜いてから、ヒューズの点検・確認を行ってください。また定格を超えたヒューズを使用しないでください。（機器の安全のためにヒューズが装備されています。ヒューズは外部の衝撃や寿命で切れることもありますが、内部に重大な故障が発生している可能性が有りますのでヒューズを交換する前に販売店にご相談ください。）

## ■セッティング例

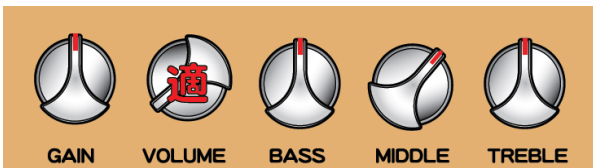
使用するギターによって音色は変わりますが、ここではトーンコントロールの調整による音作りの例をご紹介します。

### クリーン・サウンド



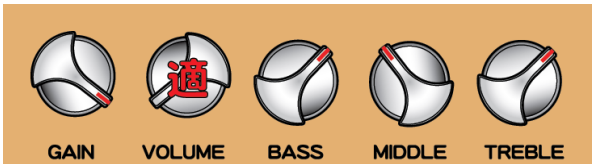
ポップスやバラードなど、比較的落ち着いた曲で使用されるサウンド。ゲインは控えめに！

### クランチ・サウンド



少し歪みが加わったサウンド。ピッキングにより多彩な表現ができるので、ブルース系の曲にぴったりです。

### ディストーション・サウンド



ハードに歪んだサウンド。DRIVEスイッチをONにした上で、左図のようにセッティングしてください。音が伸びるのでギターソロなどのリード演奏に最適です。

## ■故障かな？と思ったら

### ■ 電源が入らない。

- ・ コンセントに電源プラグは入っていますか？
- ・ 電源コードソケットから電源プラグは抜けていませんか？
- ・ ヒューズは切れていませんか？

### ■ 電源は入るがスピーカーから音が出ない。

- ・ ギターのボリュームが“0”になっていませんか？
- ・ アンプのGAINコントロール、VOLUMEコントロールが“0”になっていませんか？  
→ギターのボリューム、アンプのGAINコントロール、VOLUMEコントロールを徐々に上げていき音が出るかご確認ください。
- ・ ギターまたはエフェクターの出力がINPUTジャックに正しく接続されていますか？  
→INPUTジャックにプラグが正しく挿入されているかご確認ください。またエフェクターをご使用の際はエフェクターの出力（OUTPUT）側からアンプにつながっているかご確認ください。
- ・ エフェクターなどの機器を接続している場合、それらが正常に動作していますか？  
→接続している機器を全て取り外し、ギターからアンプへ直接接続した状態で音が出るかご確認ください。
- ・ ギター、アンプ間のシールド・ケーブルが断線、または損傷していませんか？  
→一度他のケーブルでもお試しください。

### ■ ノイズが出る。

- ・ アンプの出力により周囲のものが振動（共振）して音を出していませんか？  
→設置方法、設置場所によって音色が異なって聞こえる場合がありますので設置方法、設置場所を変えて確認ください。
- ・ エフェクターなどの機器を接続している場合、それらが正常に動作していますか？  
→接続している機器を全て取り外し、ギターからアンプへ直接接続した状態でノイズが出るかご確認ください。
- ・ ギター、アンプ間のシールド・ケーブルが断線、または損傷していませんか？  
→一度他のケーブルでもお試しください。
- ・ ギターの弦高が正しく調整されていますか？  
→弦高が低すぎると、弦が指板に当たりノイズが発生することがあります。

### ■ 故障などの場合

この製品は、厳重に検査を終えた上で出荷されております。故障かな？と思ったらお手数ですが以上の項目をぜひご確認ください。確認後、故障の原因が分からない場合は、お買い上げいただいた販売店にお尋ねください。また、修理をご依頼の際は、速やかに修理を行えるよう、症状を詳しくお伝えくださいますようお願い申し上げます。